2026年９月10日

各　　位

会社名　　デリカフーズホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　大﨑　善保
（コード番号　３３９２　東証スタンダード）
問合せ先　　取締役 ＣＦＯ　　仲山　紺之
（TEL 03-3858-1037）

当社連結子会社による物流拠点新設に関するお知らせ

当社は、本日付で当社連結子会社であるエフエスロジスティックス株式会社（東京都足立区　代表取締役　吉川直樹）において「三郷サプライセンター」を開設することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．新設の目的

近年、物流を取り巻く環境が急速に大きく変化しています。いわゆる「2024年問題」に加え、2026年施行の改正物流関連法により、物流の効率化と適正化が荷主企業にも求められる時代となりました。
こうした事業環境の変化を踏まえ、本センター設立により、「成長エンジンとしての物流事業の拠点拡充」を図るとともに、物流を切り口とした「食の総合ソリューション提供」を実現してまいります。

２．当該施設の機能

（１）成長エンジンとしての物流事業の拠点拡充

・外販拡大と各種合理化

2026年４月開設の東海マザーセンター（愛知県弥富市）に続き、関東圏におけるグループ外取引（外販）拡大に資する戦略拠点として機能させるとともに、外部倉庫集約による保管・移動費用の削減、作業効率性の向上などの各種合理化を図ります。

・グループ全体物流網最適化

将来的には、グループの中核事業会社として青果物加工流通業を担うデリカフーズの仕分・出荷機能の統合・再編によるグループ全体物流網の最適化も検討してまいります。

（２）食の総合ソリューション提供

・３PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業の展開

自社荷物のみならず、グループ外の商品保管や配送を請け負うTC（通過型物流）センターとして外販を拡大し、物流事業を新たな収益の柱へと成長させます。

・サプライ事業の展開

グループ拠点間を結ぶネットワークを活用し、集荷および配送効率を上げ、車両の回転率の改善を図ります。青果物だけでなく、お客様が日々使用する各種資材や乳製品、調味料など野菜外の食材の保管や混載配送を行うことで、顧客へのコスト低減と工数削減を提案します。

（3）今後目指していく姿

当社が目指すのは、業界内のリーディングカンパニーとしての地位を確立した青果物加工流通事業に更なる磨きをかけ、安定供給力の向上と販売ポートフォリオの拡充を進めるとともに、物流を核としたグループの経営資源を最大限に活用することで、お客様に提供する価値創造の領域を広げることです。

具体的には、青果物流通で培った調達力、加工力、品質管理力、物流ネットワークを活かし、お客様が必要とする商品やサービスをワンストップで提供することにより、お客様の調達を総合的に支える新しい食の総合サプライチェーンの実現に取り組んでまいります。

3．当該施設の概要

所在地	埼玉県 三郷市 インター南
賃貸面積	1,785 坪（賃貸物件）
	〔内訳〕冷蔵面積：1,350 坪
	冷凍面積： 135 坪
	常温面積： 300 坪
投資額	約 2.1 億円(改修費用等)
資金計画	自己資金
営業開始	2026 年 10 月（予定）

4．業績への影響について

当該施設の建設に伴う 2027 年３月期の連結業績予想の修正はありません。今後、重要な影響を与える事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以　上